各 弁 第 二 匹 六 号

内閣衆質一七一第二四六号

平成二十一年四月三日

国 務 大 臣 河 村 建内閣総理大臣臨時代理

夫

衆議院議長 河 野 洋 平殿

衆議院議員鈴木宗男君提出北朝鮮による長距離弾道ミサイルの発射予告に対する政府の対応に関する再質

問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出北朝鮮による長距離弾道ミサイルの発射予告に対する政府の対応に関する

再質問に対する答弁書

一及び四から八までについて

政府としては、御指摘の新聞記事については承知しているが、その事実関係の有無について申し上げる

立場にはない。いずれにせよ、 我が国の弾道ミサイル防衛システムについては、 過去の試験の結果等にか

んがみれば、その技術的信頼性は高いものと考えている。

二について

石破農林水産大臣の所掌外の事項に関する個人としてのやり取りの有無について、政府としてお答えす

ることは差し控えたい。

三について

御指摘の中曽根外務大臣の発言は、 我が国のミサイル防衛システムが非常に高度な難しい技術を要する

ことにつき一般論として言及したものである。